



SSKP つくしんぼの会報誌

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1999年2月号
(No. 30)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

それでも職員募集中

淋しい現実

三月いっぱいまで、つくしんぼの職員の一人が退職されます。これまで両親と一緒に生活していた方です。だから、つくしんぼの安い給料でもなんとかすることが出来た。だけど、四月からはいろいろ事情があつて一人暮らしをしなければならなくなつてしまつた、とのこと。

そして悲しいかな、それを支えられるだけの給料をつくしんぼからは払えないのです。養護学校での先生の経験もあり、障害児に関しての知識も豊富な方ですので、つくしんぼとしてはとても残念でなりません。でも、今のつくしんぼではどうすることも出来ないのです。

辛い現実

つくしんぼでは、職員に対しての社会的保障がまったく出来ていません。理由は簡単、予算的にどうにもならないからです。「そんなこと言わないで保険ぐらい何とかしてあげれば」と、他の施設（成人の方が通う作業所）の方から言われました。

つくしんぼでも出来ればそうしたいと思ひ、社会保険事務所に問い合わせしてみました。そして、溜め息が出ま

した。一人あたり年間45万円もの経費が必要になるなんて知らなかったからです。

悲しい現実

つくしんぼは東京都のデイサービス事業として認可され、それに準じた補助金で基本的に運営しています。年間予算は約八五〇万円（家賃補助を除く）。厳しい運営を強いられる無認可作業所と比べても、およそ三分の一の額です。

この金額って、一見多いようにも見えます。実際、障害児の放課後活動のために一千万円近い補助金を出している自治体は東京都以外ないのが現実です。

でも、よく考えてみて下さい。これって、一般の中堅サラリーマンの年収程度に過ぎ

ません。この額で、施設運営の全てを賄わなければならないのです。

この額は減ることあつても、決して増えることはありません。つくしんぼは子どもたちの施設なので、現状では授産施設はもちろん、通所訓練施設になることも出来ません。今後、新規の子どもを受け入れても、予算はアツプされることはまずあり得ないのです。

しんどいけど……

それでも、私達は半ばムキになつてつくしんぼの運営を続けています。障害児の放課後を保障してくれる公的機関がないからです。私達がつくしんぼをやめたら、これまでの苦労が雲散霧消してしまうだけですね、今後の障害児の放課後

保障の道も閉ざされてしまふ気がするのです。一般学童での障害児の受け入れ枠を増やすと市では言っています。中々重度の障害児が受け入れて貰えるとは思えません。

ランク(三段階)	開所日数	利用定員	年間延利用	基準額(円)	維持管理費	計(円)
基準1	週5日	6人以上				
	週4日	15人以上	1050人以上	7,587,000	1,000,000	8,587,000
	週3日	15人以上				
基準2	週4日	6人以上				
	週3日	10人以上	750人以上	5,433,000	800,000	6,233,000
基準3	週2日	10人以上				
	週2～3日	6人以上	450人以上	3,222,000	500,000	3,722,000

それでも……

つくしんぼでは来年度の職員（できれば女性）を一名募集しています。と言っても、正職員として採用することは不可能です。昇給も社会保障も出来ぬままに採用するなんて無責任なこと出来ません。

ゆえに、とりあえず一年間、つくしんぼでアルバイトして欲しいと思つて頂ける方を探しています。たとえば、大学を卒業した。けど、就職採用試験に受からなかった。けど、来年も試験を受けようと勉強を続けている……みたいな方がいてくれたら嬉しいのです。我が儘な注文であることは

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

1月6日(水) 天気 はれ

新年スタートのこの日、つくしんぼでは盛大にもちつき大会をやりました。とはいっても、今年もまたしても機械でグネグネあるだけのラクチンおもちつきだったんであけ……。

磯辺、きなこ、あんこ、大根おろしと味だけは今年もバラエティいろいろ。でも、おもちって、食べない子は全然食べないんだよね。それが残念。

去年の作り過ぎを反省して、今年はつくしんぼを減らしたのであが、やっぱり食べきれず、余ってしまったおもちは、やっぱりみんなの家のお土産になつてしまひ……。

よーし、来年こそはウスとキネで……。

とか言つて、いつも口はっかりのようにな……。(´0´)



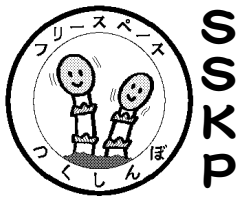
ささる会「入会・ご更新ありがとうございます」
西村様、安藤様、下田様
「寄付・ボランティア」
ありがとうございます
高尾様、坂井様、新卓様、五味様、加藤様、北原様、江端様、南つくし野小学校の大勢の子ども達
(1月)

つくしんぼガレージセール

先日、「バザーのために寄付した遊具が売られることな少く施設内で使われている」との苦情を受けました。私共としましては、寄付して頂いた品物をしっかりと有効利用しているつもりでいたのですが……。(同じ品物を買うととってもお金がかかる)

ただ、今まで、バザーのための品物を献品して頂く記事掲載の際に「施設で使用する場合がある」とはつきり明記したことは一度もありませんでした。今後は必ず一言添えるようにさせていただきます。

充分承知しているつもりです。職員の保障もせずに障害児の放課後保障を叫ぶつくしんぼは、矛盾しているのかも知れません。だけど、それでも協力者を求めざるを得ない今のつくしんぼなのです。



つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後5時までです!!



前略、つくしんぼの皆様へ

平岡 美穂

私事で恐縮ですが、私は対人関係に関してよく言えば繊細(?)な面があり、人を傷つけること、人に傷つけられることが怖いという思いが強い面があります。そしてこの性格はあらゆる場面で姿を現します。視覚障害の方が同じバス停に並んだとき、私はこんな風に考えました。『並ぶバス停は間違えていないかな。バスの階段は一人で登れるのかな。でも全部一人でできるかもしれないのにこんなこと言われたら逆に差別的で傷つけるかもしれない』私は自分が何も知らないことに劣等感を持ち、知らないが故に起きてしまうであろう相手の感情を傷つけること、そして無神経な自分を責められる

ことを恐れていました。

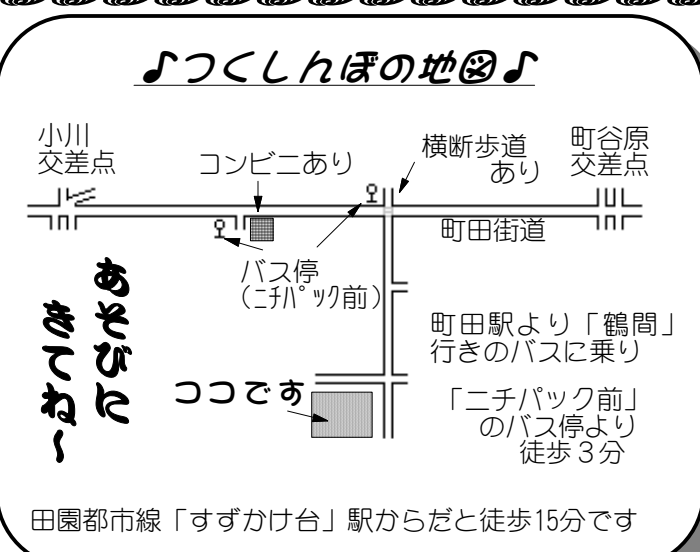
こんな状態から抜けだしたい、と強く思うようになった頃、大学で受けているある授業の課題が『どこかに直接行き、何かを体験してくる』というものでした。私はこの機を逃がすまいと、インターネットを探すうちにこのつくしんぼを見つけました。山下さんに、週一回、一ヶ月のボランティア参加を承諾していただき、つくしんぼに行くことが決まりました。この時もいろいろ考えました。『前述のような心の動きがあったとはいえ、今回のきっかけは授業だ。授業のためだけに来ているような印象をもたれたら不快感を与えるだろうな。私は本当に何も知らないから、迷惑をかけるのではないか。子ども達とうまく接することができるかな』などなど。

しかし実際つくしんぼに来てみんなと遊んでいくうちに、今まで私が抱えていた不安、恐れ、劣等感などがどんどん薄れていきました。それは例えば、最初は私を警戒して本の挿し絵を数え始めてしまったひろくんが、最後の日には私を見て抱きついてきてくれたこと。ひでくんが私のだすちよっかいに、少しずつ笑うようになってくれたこと。ゆうきくんが

私だけにシュートを数えさせてくれたこと。みおちゃんがおんぶだ、だっこだとといつも甘えてくれたこと。みゆきちゃんが鬼ごっこで私をかばってくれたことなどの数々の感動や、つくしんぼに関わる全ての人々が織りなす、つくしんぼの暖かさや優しさ、明るさに触れることができたからだと思います。相手を知らないから何が相手を傷つけてしまうかわからず一歩も動けない。そんな私にみんなの笑顔が最初の一步をふみださせてくれました。

つくしんぼを訪れる数々の人の中には、心ない行動や言葉で人を傷つけたり、不快にさせたりする人もいます。でも、それでも、これから先、つくしんぼを訪れる全ての人にとって、私が感じたような暖かさを感じられる場所であってほしいな、と思います。一歩も動かないでいれば誰も傷つかないし、傷つけられることもないけれど、私がつくしんぼで得たような何かを得ることもない、と身にしみて感じているからです。

すっかりつくしんぼが大好きになった私です。これからもよろしくお願いします。



田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分です

つくしんぼでは新年度の臨時職員を募集しています

つくしんぼでは来年度に職員として子ども達と遊んで下さる方を1名探しています。出来ることなら若い女性が希望です。つくしんぼの子ども達はとってもアクティブです。脱走(?)することもたびたびです。体重が重いのに抱き上げて貰うのが好きな子もいます。ゆえに、どうしても体力

が必要なわけでした……。女性を希望しているのは、今年度のつくしんぼは男の職員ばかりで、女の子の相手に困ることが幾たびかあったからでした……。月曜～金曜の毎日午後1～5時位の時間が活動時間です。ご連絡をお待ちしています。(今月号は求人情報誌みたいだ…)

「つくしんぼをやるんやないか」
「加入会」更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを一昨年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいことは相変わらずです。そこで皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます。

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを一昨年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいことは相変わらずです。そこで皆様にお願いがございまして、本当に勝手なお願いで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。よろしくお願ひ申し上げます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ

編集後記

見渡せば、あっちもこっちもインフルエンザによる学級閉鎖だらけ。その勢いは普通学級にとどまらず、心障学級にも及んでいます。当然の如く、猛威はつくしんぼにも及んでいます。つくしんぼに来る当人は大丈夫でも、兄弟姉妹が寝込んでいたり、お母ちゃんがブツ倒れていた

り、職員が全身紫色になっていたりと……。運営委員会の方の中からもなんと2名もの肺炎患者すら出る状況なのです。でも、今のところつくしんぼは一日も休んでいません。一人でも来る子どもがいれば活動してしまうからです。みなさん、風邪をひくなら一斉にひきましょう!!(^o^)

発行所 東京都世田谷区砧6丁目26番11号 協栄会 定価50円